

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 5 日 (2012.1.5)

【公開番号】特開 2010-118818 (P2010-118818A)

【公開日】平成 22 年 5 月 27 日 (2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報 2010-021

【出願番号】特願 2008-289618 (P2008-289618)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 19/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/14 (2006.01)

G 0 2 B 1/06 (2006.01)

G 0 2 B 7/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 D

G 0 3 B 19/00

G 0 2 B 3/00 B

G 0 2 B 3/14

G 0 2 B 1/06

G 0 2 B 7/00 D

H 0 4 N 5/335 V

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 11 日 (2011.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学系と撮像素子とを有する撮像系を M 個 (M は 2 以上の自然数) 備える複眼の撮像装置であって、

前記撮像系は、1 個の基準撮像系と M - 1 個の従属撮像系とを有し、前記撮像素子の画素の配列方向に配列され、

前記光学系の光軸は、前記撮像素子の略中心を通り、

前記従属撮像系のうち L (L は最大値が M - 1 である正の整数) 番目の従属撮像系の撮像素子は、前記撮像素子の 1 画素の長さを W とした場合に、前記基準撮像系の撮像素子に対して前記撮像系の配列方向に直交する方向に、

$W \times ((L / M) + N)$ (N は 0 を含む自然数)

の距離ずれて配列されていることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

N = 0 であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記 1 個の従属撮像系と前記 1 個の基準撮像系との配列方向は、前記従属撮像系とは異なる 1 個の従属撮像系と前記基準撮像系との配列方向に、略直交して配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。